第17講
先進国と発展途上国の都市

世界の大都市の多くではスラムが形成されている。先進国の場合は都心近くにスラムがみられ，発展途上国の場合は都市周辺へと拡大する。先進国の大都市では再開発も進む。とくにロンドンのドックランズ地区は港湾施設の荒廃が深刻だった地域であるが，再開発によって新たな街区へと再生した。

１７．１　先進国の都市と発展途上国の都市との性格の違い

先進国では国内に多くの大都市が形成されるのに対し，発展途上国では特定の大都市のみに人口が集中する傾向が強い。この例として，タイのバンコク，インドのコルカタ・ムンバイ，ナイジェリアのラゴス，メキシコのメキシコシティ，ブラジルのリオデジャネイロ・サンパウロがある。

１７．２　プライメートシティ

発展途上国においては国内にたった一つの巨大都市が形成されることがあり，それをプライメートシティ（首位都市）という。タイのバンコクのように首都とプライメートシティが一致する例もあるが，ナイジェリアのラゴスのように首都ではない場合もある。

なお，インドやブラジルなど面積や人口の規模が大きい国については，国内に複数の巨大都市が成立する可能性があり，それらはプライメートシティとはよばれないが，人口が過度に集中するなど性格は共通する。

＜チェック！＞

首都が人口最大都市ではない国も多い。面積上位７カ国のうち，ロシア以外の６カ国は全て人口最大都市が首都ではない。また，非常に重要な都市としてトルコのイスタンブールがある。アジアとヨーロッパにまたがる海峡の都市であり，人口は1000万人を超える。かつて東ローマ帝国の都であったなど，歴史的にも重要。しかしトルコの首都は国土中央部の高原に位置するアンカラであり，人口規模はさほど多くない。

１７．３　スラム（不良住宅地区）

日本以外のほとんどの国の大都市ではスラムとよばれる不良住宅地区が，先進国ならば都心付近に，発展途上国ならば都市周辺に，それぞれみられる。経済レベルの低い地域から，経済レベルの高い大都市へと人口が流入するが，都市にも十分な雇用はなく，貧しい人々はスラムへと住み着く。

＜チェック！＞

スラムの形成される位置に注意。「先進国は都心部，発展途上国は都市周辺，日本は無し」である。先進国では，成立年代の古い都心近くの地域が老朽化・荒廃し，富裕層が郊外へ流出した後から，移民や有色人種などの貧困層が流入してくる。発展途上国では，農村から都市への人口流入の勢いがとくに大きく，経済的に収容しきれなくなった人口が都市の周囲へと「はみ出して」いく。

１７．４　先進国の大都市における少数民族の問題

先進国の大都市では都心部がスラム化しているが，このエリアには少数民族や移民が流入し，多くの民族が混在することによってさまざまな問題も生じている。ヨーロッパ諸国における旧植民地からの人口流入が代表的なものだが，他にもドイツのトルコ人や，アメリカ合衆国のヒスパニックや黒人の例がある。先進国のスラムは少数民族地区となっている場合が多い。

[知っておこう]

先進国の都心部においてスラム化が進行することを「インナーシティ問題」という。広義では日本のドーナツ化現象もインナーシティ問題に含める場合もあるが，共通テスト地理においては日本の事例は考慮しない方がいい。日本の大都市において都心部で人口が減少するのは地価が高いからであり，オフィスや商業施設などは逆に都心部に集中する。一方，欧米の大都市で都心部がスラム化するのは，建物やインフラ（都市施設）の老朽化や荒廃であり，人口だけでなく産業も流出する。

１７．５　発展途上国の大都市の急激な人口増加と都市問題の発生

発展途上国は一般的に都市人口率は低いが，特定の都市のみに人口が集中し大規模化する傾向が強い。ただし，都市インフラは整備されておらず，失業率も高い。貧富の格差は大きく，都心付近に高級住宅地がみられる一方，郊外には巨大なスラムが形成されている。また発展途上国の大都市は先進国以上に交通渋滞や大気汚染などの都市問題が発生している。

１７．６　都市再開発の具体的事例

先進国の大都市においては都心部にスラムがみられ，さまざまな問題が生じている（インナーシティ問題）。そのため，現在は再開発によって，新たな街区へと再生する例も多い。スラムが取り払われ，オフィスビルや商業施設，マンションなどの建設が進む。高所得者が流入し，都市が活性化される（高級住宅地化；ジェントリフィケーション）。ただし，家賃上昇によってかつての住民が住居を失うなどの問題も生じている。

１７．７　ロンドンの開発と再開発

ロンドンについては，古い時代に行われた「開発」と現在行われている「再開発」を区別して考えないといけない。

［開発］・・・大ロンドン計画。20世紀中頃から行われた都市開発で，ハワードの提唱した田園都市構想に基づく。ロンドンの郊外にニュータウンを建設し，ロンドンの過密な人口の分散が図られた。市街地の周囲を緑地帯（グリーンベルト）で囲み，市街地の無秩序な拡大を防ぐ。なお，これらのニュータウンは都市内にオフィスや工場などを設け，職住近接が実現している。日本のニュータウンは職住分離。

［再開発］・・・ドックランズ再開発。20世紀末から現在。旧港湾地区でインナーシティ問題が生じていたドックランズを再開発。近代的な街区へ生まれ変わった。

＜チェック！＞

イギリスは港湾を中心に発達した都市である。テムズ川のエスチュアリー(三角江)に面する。エスチュアリーとは，河口が沈降して形成されたラッパ状の入り江で，水深が十分であり天然の良港となる。

普通，港湾に適する十分な水深を持った海岸は斜面(山地)を付随することが多く，平野が限られるため，都市の発達は限定的となる。しかしエスチュアリーの場合は，広い平野との組合せとなり，「大都市＋巨大港湾」が成立する。ロンドンがそれに該当する。

ロンドン以外の例としては，エルベ川河口のハンブルク(ドイツ)，ラプラタ川河口のブエノスアイレス(アルゼンチン)など。

[知っておこう]

パリの事例を知っておくこと。パリは中心市街地の再開発が制限されている点でロンドンと異なる。パリはセーヌ川の川中島であるシテ島に建設された砦を起源とする都市。周囲には防御用の囲郭(城壁)も建設されていた(現在は解体)。街路区画は複雑で，細かく入り組んでいるが，そうした街区や建造物・街並みは歴史的に貴重なもので，保全されている。現在は郊外のラデファンス地区に副都心が建設され，都市機能の一部が移転している。

１７．８　都市の形態

・日本の都市・・・平城京や平安京など，碁盤目状の街路区画。中国の古代都市を参考にしている。しかし城壁(城郭)は持たない。

・中国の都市・・・長安(現在のシーアン)など。碁盤目状の街路区画。城壁を有していた。

・ヨーロッパの都市・・・古い時代に形成された街路は複雑な形状を持つ。城壁を有していた。

・アメリカ合衆国の都市・・・都心部に高層ビルが集中。郊外は広い一戸建て。

ワンポイント

都市を機能別に分類した場合，とくに重要であるのは政治都市。キャンベラやワシントンD.C.など計画的に建設されたもの，オタワやアンカラなどそうでないものなどあるが，人口規模が決して大きくない点は共通している。

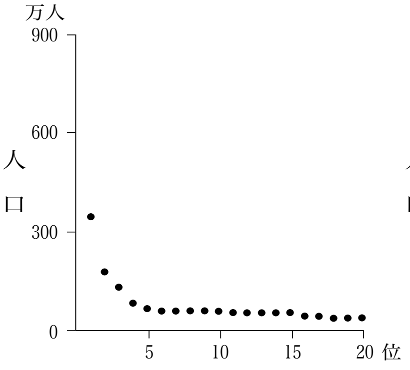
国	人口が大きな都市	首都（政治都市）	特徴
トルコ	イスタンブール	アンカラ	国土中央部の高原上に位置。
ナイジェリア	ラゴス	アブジャ	主要３部族の分布域の中間である内陸部。開発の拠点でもある。
カナダ	トロント・モントリオール	オタワ	英語圏とフランス語圏の境界に位置。
アメリカ合衆国	ニューヨーク	ワシントンD.C.	計画的に建設された街路網。放射直交型。
ブラジル	サンパウロ・リオデジャネイロ	ブラジリア	内陸部の高原に建設。開発の拠点でもある。計画的に建設された街路網を持つ。飛行機が翼を広げたような形状。
オーストラリア	シドニー・メルボルン	キャンベラ	主要な２都市の間の山間部に建設。計画的に建設された街路網。放射環状型。

計画的に開発された規則的な街路構造をもっているのが，キャンベラ，ワシントン，ブラジリア。キャンベラは放射同心円状の街路を持ついくつかのエリアが，太い幹線道路によって結ばれている。ワシントンは放射状の街路と碁盤目状の街路が組み合わされた放射直交路型。ブラジルは，大きな鳥あるいは飛行機が大きく翼を広げたような独特の形状。

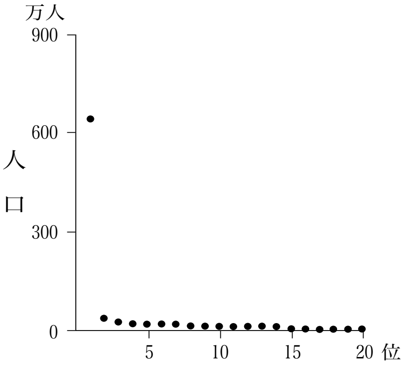
第17講
先進国と発展途上国の都市［練習問題］

［1］　次の図1中のア～ウは，アメリカ合衆国，タイ，ドイツのいずれかの国における上位20位までの都市人口を示したものである。ア～ウと国名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

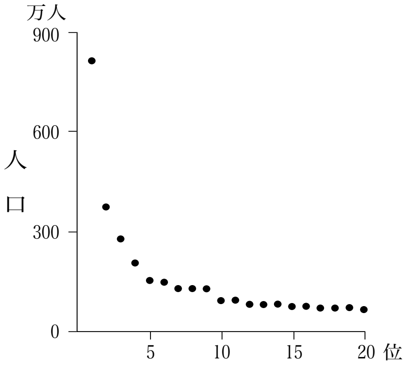
（2007年度地理B本試験第3問問2）



ア



イ



ウ

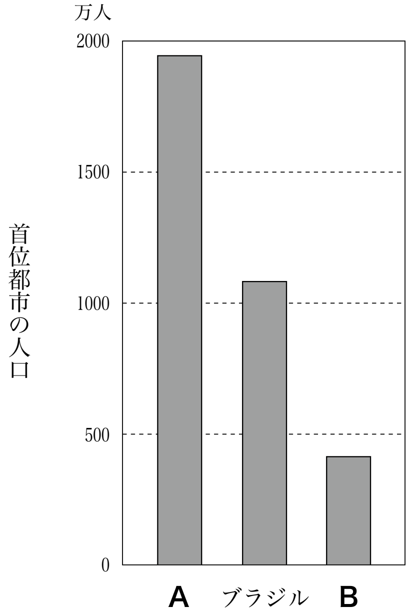
統計年次は，アメリカ合衆国とドイツが2003年，タイが2000年。
National Statisrical Office Thailand の資料などにより作成。

図1

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
タイ	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ドイツ	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

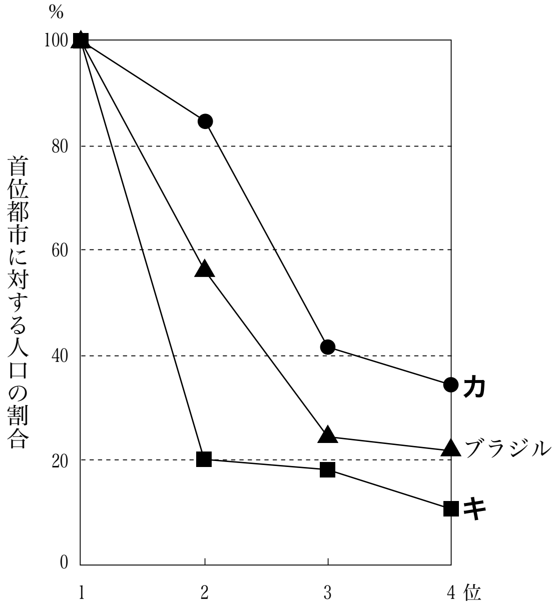
［2］　次の図１は，オーストラリア，ブラジル，メキシコにおける首位都市の人口を示したものであり，図２は，３か国における人口の上位４位までの都市について，各国の首位都市に対する人口の割合を示したものである。図１中のＡとＢ，図２中の**カ**と**キ**は，オーストラリアまたはメキシコのいずれかである。メキシコに該当する正しい組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。

（2009年度地理Ｂ追試験第４問問３）



首位都市の人口は，市域人口と郊外人口の合計。
統計年次は2003年。
『世界国勢図会』により作成。

図１



各都市の人口は，市域人口と郊外人口の合計。
統計年次は2003年。
『世界国勢図会』により作成。

図２

	①	②	③	④
首位都市の人口	Ａ	Ａ	Ｂ	Ｂ
都市に対する人口の割合	カ	キ	カ	キ

［3］　アフリカや南アメリカの発展途上国では，農村から都市への急激な人口移動がみられた。その原因を述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（1999年度地理Ａ本試験第３問問３）

①　都市地域では，経済開発のための投資が重点的に行われてきた。

②　都市地域では，急速な工業化のために慢性的に労働者が不足している。

③　農村地域では，都市からの情報の流入により都市生活へのあこがれが広がった。

④　農村地域では，急激な人口増加に比べて就業機会が不足している。

［4］　ブラジル国内でも日本と同様に農村から都市への人口移動が問題になっているが，異なる点も多い。両国の相違点を述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（1999年度地理Ｂ追試験第２問問３）

①　都市へ流出する農民は，ブラジルでは小作農や農業労働者が多いが，日本では自作農が大部分である。

②　都市への人口流入によってブラジルではスラムの拡大が生じているが，日本ではそのような現象はほとんどみられない。

③　家族で都市に移り住んだ場合，ブラジルでは子供も働くことが多いが，日本ではそのような現象はみられない。

④　都市への流出者の年齢構成は，ブラジルでは高齢者に偏っているが，日本では若年層が中心である。

［5］　次の文①～⑤のうちから，誤っているものを一つ選べ。

（1989年度地理本試験第４問問３）

①　アメリカ合衆国の大都市の旧市街の中には，建物が老朽化し，問題になっているところがある。

②　日本の大都市の都心部には，夜間人口（常住人口）が減少し，地価が郊外に比べ低くなっているところが多い。

③　発展途上国の大都市においては，自動車の急増に道路網や交通諸施設の整備が追いつかず，深刻な交通問題に悩んでいるところが多い。

④　日本の大都市の周辺で市街地が無秩序に拡大するスプロール現象は，都市施設の整備の面にも，農業に対しても，さまざまな影響を及ぼしている。

⑤　発展途上国の大都市においては，職を求めて多数の人々が流入し，劣悪な環境の住宅地が急速に拡大して，大きな問題となっている。

［６］　世界の都市問題について述べた文として適当なものを，次の①～⑤のうちから二つ選べ。ただし，解答の順序は問わない。

（1999年度地理Ａ本試験第３問問２）

①　発展途上国の急成長する大都市では，公共交通機関や道路の整備が遅れていることもあり，交通渋滞や排気ガスによる大気汚染が深刻である。

②　先進国では市場経済を原則としているので，大都市郊外のスプロール化を防ぐための土地利用規制は行われない。

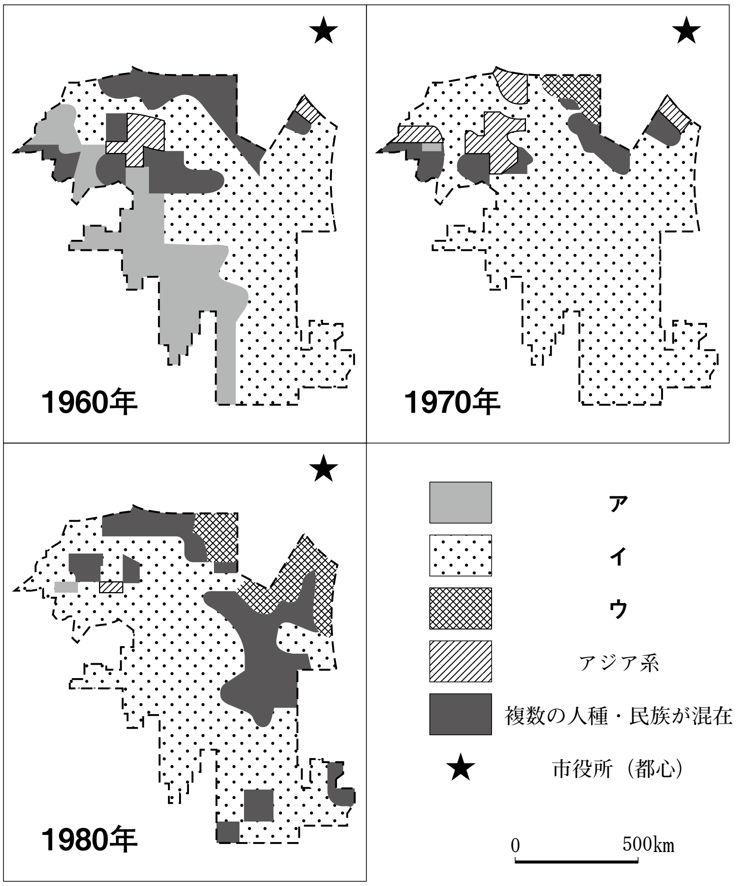
③　発展途上国の首位都市の多くでは，過密問題が深刻になったため，人口が減少しはじめている。

④　先進国でも発展途上国でも，不良住宅地区の再開発後の家賃上昇により，再開発前の住民が住めなくなる場合がある。

⑤　先進国でも発展途上国でも，不良住宅地区が形成されているのは，主にインナーシティである。

［７］　北アメリカでは，都市内に居住する複数の人種・民族間の摩擦も，都市問題の一つである。次の図**１**は，ロサンゼルス市中心部のある地区における，1960年，1970年，1980年の人種・民族分布を示したものである。図**１**中の凡例の**ア**～**ウ**は，黒人，白人，ヒスパニックのいずれかである。次の説明文の参考にして，**ア**～**ウ**に該当する人種・民族の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（1999年度地理Ａ本試験第３問問４）



Johnson and Oliver（1989）の図を一部改変。

図１

［説明文］

1960年の**ア**の居住地区のほとんどが，1970年になると，**イ**の居住地区に取って代わられた。その後，新しく大量の**ウ**の移民が流入し，都心周辺に住むようになった。1980年になると，それまでのアジア系の居住地区は，**イ**や**ウ**の居住地区になるか混住化した。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	黒人	黒人	白人	白人	ヒスパニック	ヒスパニック
イ	白人	ヒスパニック	黒人	ヒスパニック	黒人	白人
ウ	ヒスパニック	白人	ヒスパニック	黒人	白人	黒人

［8］　世界的な大都市の多くでは，人種・民族の分布に特徴がみられる。次の図**3**は，ロサンゼルスにおけるいくつかの人種・民族の居住地（＊）を示したものであり，①～④はアジア系，黒人，白人，ヒスパニックのいずれかである。それぞれの人種・民族の居住の特徴を説明した次の文を読んで，ヒスパニックに該当するものを，図**3**中の①～④のうちから一つ選べ。

（＊）居住地は各人種・民族が各統計区の人口の50％以上を占める範囲。

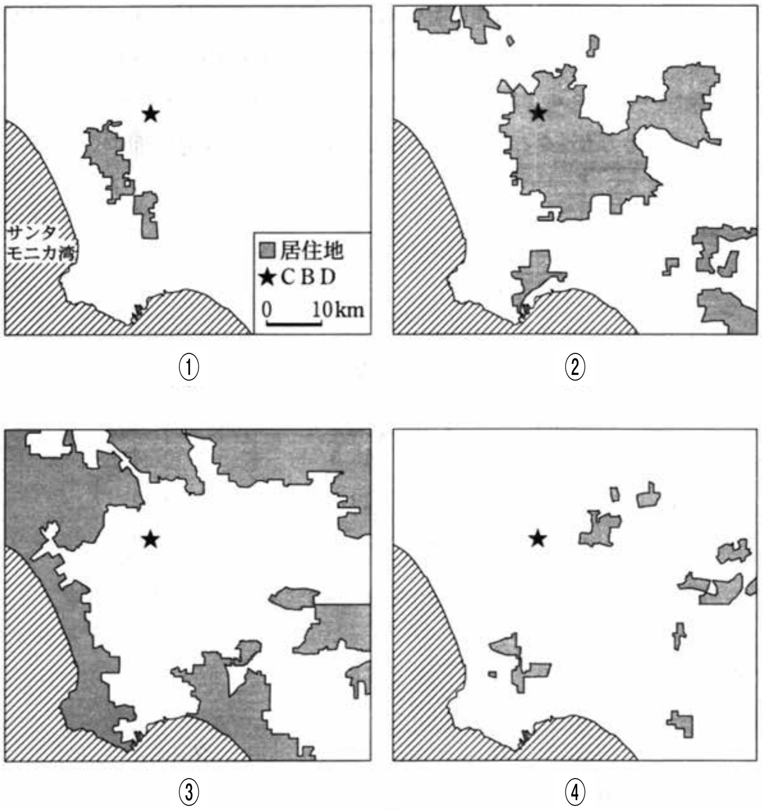
（2009年度地理Ｂ本試験第４問問４）

アジア系　かつては都心に隣接して多く居住していたが，所得水準の向上を背景に居住地の郊外化が進んでいる。

黒人　低所得を背景に，かつては都心部に多く居住していたが，新たな移民の流入により，その居住地は縮小している。

白人　高所得を背景に，人口密度の低い戸建て住宅地区に多く居住している。

ヒスパニック　1970年代以降の人口増加と低所得を背景に，家賃や通勤などの経済的負担の少ない地区への居住が拡大している。

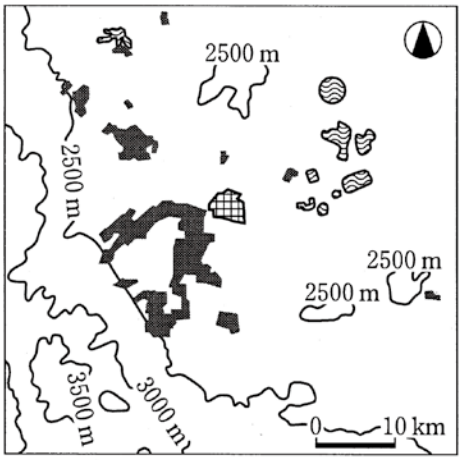


統計年次は2000年。
アメリカ合衆国センサス局の資料により作成。

図３

［9］　メキシコシティには農村から大量の人口が流入し，不良住宅地(スラム)が形成されている。次の図1中の①～④は，メキシコシティにおける高級住宅地，中級住宅地，低級住宅地，不良住宅地のいずれかの分布を示したものである。不良住宅地に該当するものを，図1中の①～④のうちから一つ選べ。

(2013年度地理B本試験第3問問4)

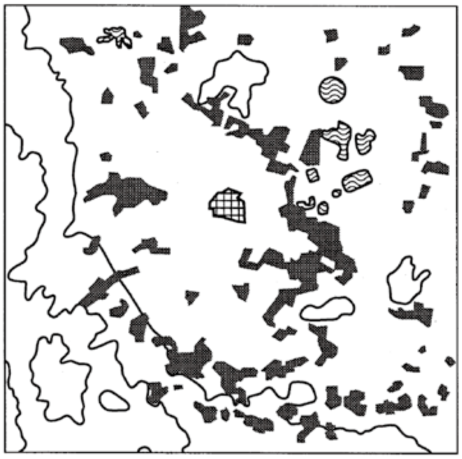


中心業務地区の南西部に比較的まとまって分布している。

①

中心業務地区を囲むように，平坦地に広く分布している。

②



都市外縁部の平坦地や斜面に広く分布している。

③

都市最縁辺部の低湿地周辺や斜面に多く分布している。

④

住宅地　湿地・水辺　中心業務地区

Diercke Weltatlas, 2002により作成。図1

［10］　世界の都市・居住に関する社会問題について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2009年度地理Ｂ追試験第６問問５）

①　メキシコシティでは，人口増加にともなう深刻な住宅不足により，生活環境の悪化が社会問題になっている。

②　ラゴス［ナイジェリア］では，爆発的な人口増加や異なる民族の間での対立により，治安の悪化が社会問題となっている。

③　ロサンゼルスでは，不法入国者や低所得者層の増加により，都心部に隣接した地区において高い失業率や犯罪の増加が社会問題となっている。

④　ロンドンのドックランズでは，都市再開発にともなう地価高騰により，インナーシティ問題が社会問題となっている。

［11］　大都市の不良住宅地区における近年の変化について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2005年度地理Ｂ追試験第４問問７）

①　ニューヨークでは，近年のコミュニティ活動などにより，観光地としての魅力をもつ街区も現れている。

②　メキシコシティでは，継続的な改良事業により，国際的な先端産業地区に変わっている。

③　ヨハネスバーグでは，人種隔離政策（アパルトヘイト）の撤廃により，中心業務地区に変わっている。

④　ロンドンでは，大規模な再開発事業により，グリーンベルトに変わっている。

［12］　都市再開発事業について述べた次の文①～④のうちから，誤っているものを一つ選べ。

（1998年度地理Ｂ追試験第３問問４）

① 北九州では，操業を縮小した製鉄所の敷地に，地域活性化の拠点としてレジャーランドが建設された。

② ニューヨークでは，低所得者層の居住比率が高い地区で，彼らの就業機会を増やすため，大規模な工場の建設が進んだ。

③ パリでは，都市中心部の景観を保存しつつ，集中する都市機能を分散させるため，市街地の外縁部に副都心を建設した。

④ ロンドンでは，かつて船舶に関する施設や倉庫群があった地区で，オフィスビルやレジャー施設，集合住宅などの建設が進んだ。

［13］　世界の都市の特徴について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2011年度地理Ｂ本試験第３問問４）

① シドニーでは，白人に次いで黒人の居住割合が高く，中心市街地に黒人居住区が形成されている。

② パリでは，伝統的な建物が取り壊された都心の旧市街地に，高層ビルの林立する大規模なオフィス地区が新たに形成されている。

③ メキシコシティでは，所得による住み分けがみられ，市街地を取りまく山地の斜面には高級住宅地が広範囲に広がっている。

④ リオデジャネイロでは，農村部から流入する人々が多く，十分な収入を得ることができない人もおり，不良住宅地区が形成されている。

第17講
先進国と発展途上国の都市［確認テスト］

［1］　次の表1は，いくつかの国について，人口規模の上位4都市における人口を示したものであり，首都を★で表している。表1中の①〜④は，イタリア，オーストラリア，トルコ，メキシコのいずれかである。トルコに該当するものを，表1中の①〜④のうちから一つ選べ。

（2012年度地理Ｂ本試験第3問問1）

表1

（単位：万人）

	①	②	③	④
1位	★1820.5	1082.3	433.6	★262.7
2位	383.4	★395.3	380.6	130.6
3位	347.3	258.4	185.8	98.0
4位	188.8	159.7	155.5	90.1

統計年次は，イタリア，オーストラリア，トルコが2007年，メキシコが2006年。

「世界人口年鑑」によって作成。

［２］　次の**ア**～**ウ**の文は，図５中の**P**～**R**の都市にみられる地域問題への対応について述べたものである。**P**～**R**と**ア**～**ウ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2007年度地理Ａ追試験第４問問２）

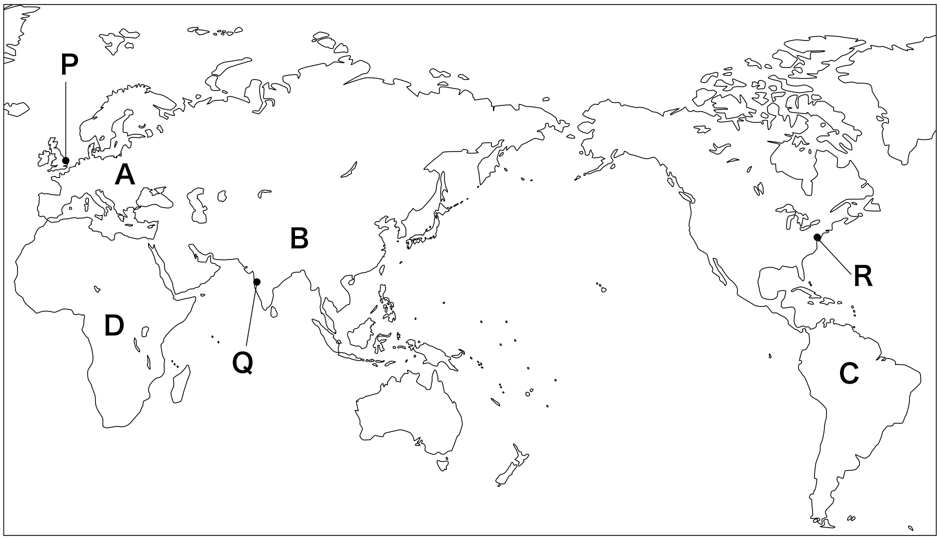


図５

ア　農村から都市に移り住んだ人々のうち，経済的に不安定な人々による不良住宅地区がみられるが，公的資金の不足などからその解決がすすんでいない。

イ　数多くの民族がそれぞれ居住区を形成すると同時に，住環境が悪化した一部の地域では住宅修復や公共施設整備がすすみつつある。

ウ　グリーンベルトを設けて都市の拡大を抑制すると同時に，その郊外に職住近接によって特徴づけられるニュータウンを建設している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
Q	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
R	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

［3］　次の図1中の**ア**～**ウ**は，シカゴ，パリ，モスクワのいずれかの都市の中心部から郊外にかけての都市景観を模式的に示したものである。**ア**～**ウ**と都市名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2012年度地理Ｂ本試験第３問問２）

ア　中心部には城壁で囲まれた政府機関を核として中・低層の建造物が広がる。郊外に向かって高層化していく住宅団地が特徴である。

イ　中心部には中心業務地区をなす高層ビルの集積がみられる。郊外には一戸建ての住宅地域が広がる。

ウ　中心部には土地利用や景観の観点から中・低層の歴史的建造物が保全されている。周辺部には高層ビルからなる副都心が形成されている。

Claval, *La Logique des Villes* などにより作成。

図1

	ア	イ	ウ
①	シカゴ	パリ	モスクワ
②	シカゴ	モスクワ	パリ
③	パリ	シカゴ	モスクワ
④	パリ	モスクワ	シカゴ
⑤	モスクワ	シカゴ	パリ
⑥	モスクワ	パリ	シカゴ

［4］　先進国の都市の状況について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2007年度地理Ｂ本試験第３問問３）

①　アトランタでは，郊外の高速道路のインターチェンジ周辺にオフィス地区が形成されている。

②　パリでは，中・低層の古い建物が多かった都心部で再開発が行われ，高層化がすすんでいる。

③　バンクーバー(ヴァンクーヴァー)では，中国に返還されたホンコンからの移住者など，アジア系の移民が増加している。

④　ロンドンでは，衰退した港湾地区が再開発され，オフィスビルや商業施設が建設されている。

［5］　都市の特徴は，国・地域によって異なる。世界各国の都市の特徴を説明した文として適当なものを，次の①～⑥のうちから二つ選べ。ただし，解答の順序は問わない。

（2002年度地理Ｂ本試験第４問問６）

①　中国では沿海部と長江下流の都市の経済成長が著しく，内陸部の農村地域から多くの人々が出稼ぎにきている。

②　メキシコでは中小都市の成長が著しく，首都などの大都市からの人口流出が進んでいる。

③　アメリカ合衆国では大都市郊外に広大なスラムが形成され，大都市域が拡大している。

④　イギリスでは都市への人口集中を防止するため，大都市内部の再開発を禁止している。

⑤　タイではバンコクに各種の機能が集中し，大気汚染や交通渋滞などの都市問題が発生している。

⑥　サウジアラビアでは総人口に対する遊牧民の割合が高いため，都市への人口集中が進んでいない。

第17講　先進国と発展途上国の都市　解答

［１］正解；⑥

イに注目。ただ一つの都市のみが巨大化する傾向は発展途上国にこそ顕著。タイに該当。アとウについては国全体の人口規模を考える。人口３億人を超えるアメリカ合衆国は国内に多くの大都市を抱える。ウがアメリカ合衆国。人口8000万人程度のドイツは最大の都市（首都ベルリン）でも人口は300万人程度。100万を超える都市の数も限られている。アが該当。

［２］正解；②

メキシコの総人口は１億人を超えるのに対し，オーストラリアは2500万人程度である。人口最大都市の人口が2000万人規模となる可能性があるのはメキシコだろう。Aがメキシコとなる。また発展途上国であるメキシコは特定の都市へと人口が集中しやすいが，先進国であるオーストラリアは国内にいくつもの拠点都市が形成され，人口はそれぞれの都市に分散する。人口１位の都市とそれ以外とで差が大きいキがメキシコとなり，その傾向が弱いカがオーストラリア。

［３］正解；②

「慢性的に労働者が不足」していたら，常に労働者は十分な収入を得ることができる。しかし実際には失業率は高く，雇用からあぶれた人々を中心に大都市にはスラムが形成される。慢性的に不足しているのは仕事（雇用）の方なのだ。

①について。発展途上国では国全体の資本力が小さいため，特定の都市にのみ投資が集中する傾向がある。

③について。この場合の「あこがれ」とは雇用であり，高い所得である。農村から都市へと流入する人々は高い収入が得られる仕事を求めている。

④について。都市においても十分な雇用は足りないかもしれないが，経済レベルの低い農村ならば尚更である。都市と農村との経済格差も発展途上国の大きな課題の一つ。

［４］正解；④

人口移動は若年層が中心。ブラジルにおいても例外ではない。

①について。日本はそもそも小作農（農地を持たず，地主から土地を借りて農

業を行う）や農業労働者（契約して大農園で働く）が存在しない。
②について。失業率の低い日本においては原則としてスラムは存在しない。
③について。発展途上国では子供が働くのも一般的であり，ストリートチルドレンも多い。

［5］正解；②
日本の都市にみられるドーナツ化現象と，欧米の都市で発生しているインナーシティ問題を区別すること。前者は地価の高騰によって人口が郊外に流出することで，産業（銀行・金融，中枢管理機能，商業施設など）はむしろ都心部に集まってくる。後者は都市施設の荒廃に起因するもので，人口だけでなく産業も流出する。
①について。欧米の大都市においては都心部の荒廃がみられる。
③について。発展途上国の大都市はインフラ整備が不十分で，交通渋滞が深刻である。
④について。郊外における農地や林地の無秩序な開発がスプロール現象。住宅地が分散すると道路などインフラ整備が追いつかないなど，様々な不都合が生じる。
⑤について。発展途上国では農村から多くの人々が都市に流入し，スラムが拡大している。

［6］正解；①・④
①；発展途上国の大都市では道路や公共交通などインフラ整備が進まず，交通渋滞が激しい。また中古車も多く，排気ガス対策も進まない。
④；ジェントリフィケーションに伴う問題。都心部の再開発による高級住宅地化がジェントリフィケーション。富裕層の流入により都市は活性化されるが，家賃の高騰により旧住民が転居を余儀なくされるという問題が生じる。
②について。スプロール現象の反対の概念として，いわゆるニュータウン開発を考えよう。郊外において計画的に住宅を配置し，道路や下水道などのインフラも整備する。高度経済成長以降の日本においてニュータウン開発が活発に行われているということは，スプロール現象を防ぐための法整備が行われていると考えた方が自然であろう。
③について。発展途上国の大都市は人口が増加し続けている。
⑤について。先進国の大都市のスラムはインナーシティ（都心部）付近に形成さ

れるが，発展途上国では都市周辺。

［７］正解；③

先進国のスラム化に関する問題。開発時期の古い都心部が荒廃し，そこがスラム化していく過程が表されている。

問題文にもあるように，ここはロサンゼルスの中心部のある地区である。60年から80年にかけての大きな変化としては，アの居住地域が減少し，イやウが増加しているということ。

説明文も参照してみよう。最初に住んでいたのはアであるが，それがイに代わり，さらに移民であるウが流入した。アは白人であろう。古い住民であるが，都心の老朽化とともに郊外に転出し，そこで広い一戸建ての家を構える。そこに流入し，スラムを形成するのがイやウである。ウについては「移民」と書かれているのでこれがメキシコからの移民つまりヒスパニックと考えていいだろう。黒人たちは生まれた時からもちろんアメリカ人であり，移民ではない。

［８］正解；②

先進国では，成立年代の古い都心部の施設が老朽化し，そこにもともと住んでいた富裕層もやがて郊外へと転出してしまう。廃虚が並ぶ都心部に，移民や少数民族など失業者が流入し，スラムが形成される。インナーシティ問題の発生。

そのことを考えるとまず白人がわかる。社会的に恵まれた白人は失業率も低く，経済水準も高いため，彼らの多くは郊外に一戸建てを建てて移り住む。★がＣＢＤ（中心業務地区）なのだが，要するにこの周辺が都心部なのだろう。都心部から最も離れた郊外がグレーに塗られている③が白人となる。また白人の説明文には「人口密度の低い」，「多く」とある。本来，人口密度が低ければ人数も少ないはずだがこれはどうしたことか。人口密度は「人口÷面積」の式で算出される。つまり，人口密度が低くとも，面積が広大であるため，結果として住民の数は多くなるのだ。たしかに③は面積も大きい。

さらに①・②・④について検討。アジア系は「かつて都心」，黒人も「かつては都心部に多く」，「現在は縮小」とある。ヒスパニックについては「家賃や通勤などの経済的負担が小さい地区」に「拡大」とある。家賃や通勤などの経済的負担が小さいところとはどこだろうか。それは都心部である。さまざまな施設が密集する都心部には商店や事務所なども多く，そこへ徒歩で通勤できれば「経済的負担は小さい」。さらに日本ならばこうした都心部は家賃が高いのが相場だが，先進国

の荒廃した都心部においてはむしろ家賃を払わなくてもいいほどの劣悪な居住環境がある。こちらも「経済的負担は小さい」。すなわちヒスパニックのキーワードは「都心部」で「拡大」なのだ。

以上のことを念頭において図を確認。②がヒスパニックになるであろう。都心部に居住し，その面積は広い。それに対し，都心部に近接しながら狭いエリアにとどまっている①が黒人。「縮小している」のである。残った④がアジア系であるが，たとえば都心部のチャイナタウンに多く居住すると思いきやそれだけではなく，社会的に成功を収めた者は白人と同様に郊外に戸建て住宅を構える。実はアジア系は全体に学歴も高く，白人に次ぐ経済的優位者となりつつあるのがアメリカ社会なのである。

[９]正解；④

「発展途上国のスラムは都市周辺部に広がる」というセオリーがある。④が正解。他はよくわからないが，①が「高級住宅地」，②が「中級住宅地」，③が「低級住宅地」であろうか。発展途上国ではあるが，高級住宅に住むような富裕層は存在する。いや，発展途上国こそ貧富の差が激しいのだから，国民のほとんどが貧しい人々であっても，一部には呆れるほどの大富豪は存在するのだ。そうした富裕層の多くは，通勤の負担や治安面の問題などもあり，インフラ整備の進んだ中心部にまとまって邸宅をもうけるという傾向がある。

[10]正解；④

「高地価」は日本の都市のキーワード。ドーナツ化現象である。日本の都市においては都心部の地価が高騰し，産業（官公庁，企業のオフィス，デパートなど）は都心部に集まってくるものの，人口は郊外に流出する。

これに対し，欧米の先進国の都市におけるキーワードは「老朽化」。成立以来数百年の歴史を持つ旧市街は老朽化が著しく，人口だけでなく，産業も流出し，廃墟同然となる。そこに失業者（少数民族や移民が多い）が流入し，スラムを形成する。この都心部におけるスラム化の問題を「インナーシティ問題」という。

選択肢④については「都市再開発にともなう地価高騰」を「都市施設の荒廃により」と改めればいい。そもそもインナーシティ問題を解決するために再開発が行われるのであり，再開発がインナーシティ問題を招くような言い方はおかしい。

[11]正解；①

消去法で考えてみよう。

まず④が消える。ロンドンのような先進国において不良住宅地区(スラム)は都心部に形成されるのだが，つまり「大規模な再開発事業」が行われたのは都心部である。では果たして，グリーンベルトは都心部に作られたものなのだろうか。それは違う。グリーンベルトはロンドン近郊のニュータウンに関連するキーワードであり，ロンドン市内を囲むようにグリーンベルトが設けられ(乱開発を防ぐなどの理由)その外側にいくつものニュータウンが建設された。グリーンベルトは都心ではない。

さらに③も消える。発展途上国のスラムは都市周辺に形成される。農村などから出稼ぎ者などの労働力が都市へと押し寄せるものの，都市内に十分な雇用がないため，都市からはみ出してスラムへと居を定めるしかない。このことを考えながら③を読むと，矛盾点がある。つまり「不良住宅地区が中心業務地区に変わった」わけだが，不良住宅地区は都市周辺に形成されているのだから，「都市周辺が中心業務地区に変わった」ということになる。さあ，どうだろう？　「周辺」が「中心」というのはちょっとおかしいのではないか。

同じく発展途上国の大都市について説明した②についても考えてみよう。こちらは都市周辺に国際的な先端産業地区が形成されたということになっている。どうだろうか。たしかにメキシコはアメリカ合衆国などとの自由貿易によって多くの機械工場が国内に進出してきた。しかしそれらは単純労働の組立工場が主であり，知識集約の先端産業というわけではない。発展途上国のメキシコで，とくにハイテク産業がさかんになるということはないのではないか(＊)。

ゆえに消去法で①が正解となる。コミュニティ活動の具体的な内容はわからないが，都心の再開発によって観光業もさかんになってきていると考えておかしくはないだろう。やはりニューヨークは観光客にとって魅力ある都市であることは間違いない。

(＊)これには例外がある。センター試験でも過去に，インドのバンガロールを始め，マレーシアのサイバージャヤ，中国沿海部の大都市(ペキンなど)におけるハイテク産業の集積が問われたことがある。一般論として発展途上国では先端産業は発達しないが，アジアにおいては例外的な都市も多いと覚えておこう。

[12]正解；②

「都心に新たに工場が建設されることはない」。都市と工業(工場)の無関係性を主題とした問題は実に多いが，本問もそのパターン。②の「工場」が誤りキーワードである。

再開発後の利用として，①「レジャーランド」，④「オフィスビル」，「レジャー施設」，「集合住宅」は適切。

③については知識としてぜひ知っておこう。パリは観光資源でもある都心部の伝統的地区の再開発を制限し，郊外に副都心を建設している。都市機能の一部はそちらに移転し，集合住宅も多く作られている。

[13]正解；④

①について。シドニーはオーストラリアの都市。オーストラリアで「黒人」の割合はそもそも高いのか。黒人は奴隷貿易によってアフリカから運ばれてきた人々の子孫であり，プランテーションも少なく，労働力をさほど必要としなかったこの大陸において，黒人の流入は少なかった。誤文である。

②について。パリは京都と類似性がある。都心部の伝統的な市街地は保護され，大規模な開発は制限されている。郊外のラ＝デファンス地区に副都心が設けられ，中枢管理機能の一部はそちらに移されている。誤文。

③について。メキシコシティは発展途上国の大都市であるので，都市の周辺部にはスラムが広がっている。高級住宅地はインフラの整備された都心近くに集まる。誤り。

発展途上国のスラムのキーワードとして「プッシュ＆プル」を認識しておこう。人口増加率が高いが，十分な雇用の無い農村から人口が押し出され(プッシュ)，彼らは仕事と高賃金を求め都市へと移動する。しかし都市にも十分な雇用はなく，あふれた人口は都市周辺の土地を勝手に占拠し，住み着くことになる。都市が労働力を引き入れる力を「プル」というのだが，要するにこれが十分ではないということ。「プッシュ＞プル」の関係。このようにして，スラムは都市周辺に拡大していく。

以上より，④が正解となる。ブラジルのリオデジャネイロは発展途上国の大都市であり，過剰な人口流入とスラムの拡大が深刻な問題となっている。

第17講　先進国と発展途上国の都市　解答

［１］正解；②

トルコは人口最大都市と首都が一致しない国の代表例。人口最大都市は国土西部の海峡都市イスタンブール。非常に規模が大きいが，大都市の基準として「人口1000万人」という数字は非常に重要。アジアなら東京，ソウル，ペキン，シャンハイ，ムンバイなど。新大陸ならニューヨーク，メキシコシティ，サンパウロなど。ヨーロッパでもロンドン，モスクワの規模が圧倒的に大きく，いずれも都市圏人口はおよそ800万人を超え，1000万人をはるかに凌ぐ都市もみられる。イスタンブールもその一つで，正解は②。首都のアンカラは人口規模がイスタンブールに及ばない。

また選択肢中に他にも人口最大都市と首都が一致しない国がある。それがオーストラリア。こちらは③に該当。人口2500万人の小国であり，さすがに一つの都市だけで人口が1000万人に達することはないが，シドニーとメルボルンは規模が大きな都市である（ともに450万人超）。

①がメキシコ。首都メキシコシティは巨大な都市。④がイタリア。ヨーロッパは（スイスなどを除いて）人口最大都市と首都が一致しているが，ローマもその一つ。ただし，パリやロンドンといった巨大都市の比ではない。

［２］正解；⑤

分かりやすいものから。ウの「グリーンベルト」はロンドンのキーワード。20世紀前半から半ばにかけて，大ロンドン計画という開発が行われた。人口過密のロンドンの都市問題を解決するため，ロンドンの市街地を緑地帯（グリーンベルト）で囲み，郊外にいくつものニュータウンを建設した。Ｐに該当。

イはニューヨークのＲ。「数多くの民族」は民族のサラダボウルであるアメリカ合衆国のキーワード。都心付近の旧市街地がスラム化しているが，その一部では再開発によって活気を取り戻している地区もみられる。

残ったアがＱに該当。発展途上国における大都市の状況を説明した文であることがわかるだろうか。発展途上国はとくに農村と大都市との経済格差が大きく，人口移動の流れが顕著である。しかし彼らに十分な仕事はなく，都市周辺にスラム（不良住宅地区）が拡大していくのみ。

［3］正解；⑤

「歴史的建造物の保全」が最大のポイント。パリは歴史の古い町であり，市街地には歴史的な街区も多くみられ，開発が制限されている。日本で言えば京都を考えてみるといいだろう。ウがパリに該当する。「周辺部には高層ビルからなる副都心」とあるが，これはラ＝デファンス地区という場所。パリの郊外にはこうした副都心が新たに設けられ，パリに集中する都市機能の一部が移動している。

アとイについて。ここでは「政府機関」がポイント。このキーワードからアを首都と考えていいだろう。アがロシアの首都モスクワとなり，消去法でイがシカゴ。アメリカ合衆国の首都はワシントンD.C.である。

［4］正解；②

パリは都心部の歴史的地区の再開発は制限されている。むろん「高層化」も進まない。この辺りは，市街地における建物の高さ制限のある京都に似ている。

［5］正解；①・⑤

それぞれの選択肢を検討していこう。

①について。人口は経済レベルの低いところから高いところへと移動する。これは時代を問わず場所を問わず，経済に関する普遍の法則。とくに中国のように同じ国内で経済的に大きな格差がある場合，その人口移動は極端なものになる。貧しい内陸部から豊かな沿海部への人口移動は民工潮と呼ばれるほど大きなうねりとなっている。正文。

②について。メキシコシティという固有名詞ではなく，一般的な発展途上国の大都市と読み変えて考えればいい。先進国である日本ですら東京圏に人口が集まる傾向が強いのだ。大都市と地方の経済格差が大きい発展途上国ならいっそうその傾向は強くなる。誤文。

③について。スラムの原則「先進国は都心に，発展途上国では都市周辺に，スラムが形成される」というセオリーそのまま。アメリカ合衆国の大都市におけるスラムは都心部に形成され，郊外ではない。誤文。

④について。ロンドンは歴史の古い都市であり，都心部のドックランズ地区は老朽化が激しくスラム化した。それをインナーシティ問題という。その解決のため，近年再開発が行われ，オフィスビルやレジャー施設，集合住宅などが建設されている。誤文。

⑤について。発展途上国においては特定の大都市に諸機能が集中し，一極集中

となりやすい(プライメートシティ)。人口が過度に集まり，さまざまな都市問題も生じる。インフラが整備されていないことに起因する交通渋滞や，急速な自動車の普及による大気汚染のもその一つ。正文。

⑥について。都市への人口集中が進まないということは都市人口割合が低いということであり，つまり農村人口割合が高いということ。そもそも農村人口割合の高い地域とはどんなところか。それは豊かな自然環境の存在。温暖で湿潤で農業がさかんに行われる。モンスーンアジアなどを思い浮かべればいい。都市人口割合の低い国(それは同時に農村人口割合が高い国ということになる)の例としてタイがまず挙げられる。それに対し，乾燥国サウジアラビアには豊かな農村が存在しない。一部の遊牧民やオアシスの定住者以外は都市生活者となるだろう。自然環境の厳しい国では都市人口割合が高いと認識しておく。そもそも石油産業で潤い，１人当たりＧＮＩも低くないサウジアラビアにおいて，遊牧民がさほど多いとは思えない。誤文である。